

家 庭 科

科 目 名	単 位 数	学 年	学 科
保育基礎	2単位	3年（選択）	普通・農業機械科

教 科 書	保育基礎（教育図書）	副 教 材	なし
-------	------------	-------	----

科目の目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。
-------	---

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	第1章 子どもの保育 第2章 子どもの発達 保育技術検定3・4級の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の意義と方法、保育の環境の特徴と役割や、乳幼児期の発達の特性について理解する。 ・ 造形表現活動の一つである折り紙実習を通して幼児と触れ合うための具体的な技術を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の心身の状態や発達に応じた保育の方法とその環境、子供の健全な心身の発達について課題を発見し、課題解決に向けて考察し、工夫する。 ・ 子供の生活について課題を発見し、解決に向けて考察し、工夫する。
2 学期	第3章 子どもの生活 第4章 子どもの福祉 保育実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の生活を理解し、適切な生活習慣の形成や健康と安全に関する保育の技術を身に付ける。 ・ 児童館の変遷や児童福祉の理念と制度について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の福祉を支える場の役割について課題を発見し、解決に向けて考察し、工夫する。 ・ 保育実習を通して課題を発見し、解決に向けて考察し、工夫する。
3 学期	第5章 子どもの文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習を通して子供と触れあい、一緒に遊ぶことで子供を理解する。 ・ 子供の文化、遊びと表現活動について理解し、関連する技術を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の健やかな発達を促す遊びや表現活動について課題を発見し、解決に向けて考察し、工夫する。

1 子供の発達や生活について、保育と関連付けて理解しましょう。

2 幼い頃の感覚を取り戻し、楽しく製作活動に取り組みましょう。

3 将来、子供の良き理解者・支援者になることを目指し、積極的に実習等に臨みましょう。

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
②	思考・判断・表現	子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
定 期 考 査	1 学期期末 2 学期期末 学年末 (計3回)	
評 価 方 法 (観点番号)	以下を総合的に評価する。 ② 知識・技能（定期考査、保育技術検定、製作活動） ② 思考・判断・表現（定期考査、製作活動、意見発表） ③ 主体的に学習に取り組む態度（授業・実習態度、ワークシート）	

